

(様式第2-3号)

肝炎治療受給者証(B型慢性活動性肝炎に対する3回目のインターフェロン治療)の交付申請に係る診断書

フリガナ		性別	生年月日(年齢)	
患者氏名		男・女	年 月 日 生	(満 歳)
住所	郵便番号 電話番号 ()			
診断年月	年 月	前医 (あれば記載する。)	医療機関名 医師名	
過去の治療歴	該当する項目にチェックする。 <input type="checkbox"/> これまでにインターフェロン製剤(ペグインターフェロン製剤をの除く)による治療を受け、その後ペグインターフェロン製剤による治療を受けている。			
検査所見	今回のインターフェロン治療開始前の所見を記入する。 1. B型肝炎ウイルスマーカー (1) HBs抗原 (+・-) (検査日: 年 月 日) (2) HBe抗原 (+・-) HBe抗体 (+・-) (検査日: 年 月 日) (3) HBV-DNA定量 _____ (単位: _____、測定法: _____) (検査日: 年 月 日) 2. 血液検査 (検査日: 年 月 日) AST _____ IU/l (施設の基準値: _____~_____) ALT _____ IU/l (施設の基準値: _____~_____) 血小板数 _____ / μ l (施設の基準値: _____~_____) 3. 画像診断及び肝生検などの所見 (検査日: 年 月 日)			
診断	該当する項目にチェックする。 <input type="checkbox"/> 慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)			
肝がんの合併	肝がん 1. あり 2. なし			
治療内容	該当番号を○で囲む。 1. ペグインターフェロン製剤単独 2. その他(具体的に記載してください) _____) 治療予定期間 _____ 週 (年 月 ~ 年 月)			
治療上の問題点				
医療機関名及び所在地	記載年月日 年 月 日			
医師氏名	印			
(直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療の場合、チェックが必要) <input type="checkbox"/> 私は日本肝臓学会肝臓専門医です。				

(注)

1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。
2. HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体以外の検査所見は、記載日前6か月以内(ただし、インターフェロン治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。
3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。